

正観

2023年 5月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会長 遠藤 勝雄 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

新型コロナウイルス感染症は5類感染症に位置付けられ、マスクの着用など感染対策は個人や事業者の判断に委ねられました。それでも全剣連では試合者や受審者への面マスクまたはシールド(70歳以上は併用)を推奨していますので、やはり面を着けての稽古の時は今まで通りの注意が必要です。

令和5年度の事業が宮城県柴田郡例会と総会を皮切りにスタートしました。今後の各例会とも講師の先生方による充実した講習会や稽古会を予定しており、浜松市での全国例会や海外親善の計画もありますので是非ご参加ください。

会員の皆様にはご健勝で実りある思い出深い1年となりますようご祈念申し上げます。

NPO法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ
幹事長 三條 貞夫



1 宮城県柴田郡例会の報告

《東北地区クラブ通常総会の概要》

4月23日(日)、遠藤近志先生のご高配により宮城県柴田郡 仙台大学剣道場において2023年度の通常総会並びに今年度第1回目の地区例会が開催されました。2022年度の事業報告と決算報

告および今年度の事業計画と予算案が遠藤近志事務局長により説明され、満場一致で承認されました。欠席された会員には報告書を送付いたしますので詳細をご確認ください。

曾根孝悦副会長からは3月24日から27日にかけて3年ぶりに開催された台湾高雄大会の報告がありました。東北地区クラブからは曾根先生、三條貞夫先生、阿部東悦先生、阿部東司先生、菅原和夫先生、小淵俊江先生の6名が参加され、三條先生が個人戦において見事3位に入賞されました。同大会の様子は三條先生により会報「正観」2023年4月号に掲載されておりますのでご覧ください。

IGKCの活動計画については曾根副会長より下記の説明がありました。

- ・京都総会 5月3日(水) ホテルオークラ京都 懇親会も開催する。(実施済み)
- ・国際交流 2022年度は中止していた海外交流を進めていく方針。
 - 6月7日(水)～12日(月) ラトビア 湯村カップ
 - 7月8日(土)～9日(日) 韓国社会人剣道大会 (5月中に本部に申し込む)
 - 10月13日(金)～24日(火) オーストリア・クロアチア等
- ・全国例会 11月4日(土)～5日(日) 東海地区主管 静岡県浜松市 雄踏総合体育館



《宮城県柴田郡例会》

総会に続いて25名の参加のもと、新年度第1回目の東北地区クラブ例会を開催いたしました。「昨年度を総括してより高みを目指して欲しい。本気の気を継続することで変化が見えてくる」と講師陣の先生方の熱意のこもったご指導を賜り、充実した例会となりました。

講習・基本稽古

曾根先生に講師を務めていただき基本打突の実技講習を実施しました。

「基本だからこそ確実に有効打突にする」

- ① 切り返し
- ② 遠く離れたところからすり足で間合いに入って大きく面3本
- ③ 触刃から小さく鋭くすっに入って面3本
- ④ 間合いのところで相手が隙を作ったところをすかさず面3本
- ⑤ ④と同様に小手3本
- ⑥ ④と同様に小さく速く小手面3本
- ⑦ 竹刀を打ち落として面3本
- ⑧ 竹刀を裏から払って小手面3本
- ⑨ 構えが固い人には竹刀を裏から巻き落として面3本
- ⑩ 元立ちが面を打つ→かかり手が先の先で面3本

- ⑪ 元立ちが面を打つ→手元を出小手3本
- ⑫ 元立ちが面を打つ→抜き胴3本
- ⑬ 元立ちが面を打つ→裏鎧で擦り上げ面3本
- ⑭ 元立ちが面を打つ→表鎧で擦り上げ面3本
- ⑮ 元立ちが面を打つ→表鎧で擦り上げて胴3本
- ⑯ ②と同じ大きく面3本

審査研修 引き続き春の審査会、京都大会を目前に控えて審査研修が行われました。八段受審の先生方には遠藤勝雄先生、三條先生、六・七段受審の先生方には曾根先生、佐藤孝康先生から課題の指摘や丁寧なご指導を賜りました。以下にご指導いただいた点の一部を記載させていただきます。「刮目(かつもく)してこれを見よ」という故事成語がありますが、会員一同ご指導いただいた内容に日々本気で取り組んで精進し、見違えるように成長した姿を先生方に見ていただきたいと思いました。

～八段受審査者会場～

- ・打たれまいとして打ち崩れるのは駄目。手元を崩さず前で制する。
- ・構が硬すぎるとスケールが小さくなりかたらいが出来なくなる。
- ・打とうとする瞬間に力が入ると、それが打ちまでつながり冴えのある打ちが出せない。
- ・打つことよりも技を出す過程が大事である。
- ・二刀に対しては小太刀に捉われない。二の太刀、三の太刀、上を攻めて下、下を攻めて上、連続技で決める事。小太刀を意識しないで対峙する。
- ・上段、二刀の構えが整わない内に打つこと。
- ・新型コロナ感染拡大以降、審査での観点が広がってきた。「乗る」「引き出す」「いなす」「萎やし入れる」ができていのかどうかなど、打ちを出すまでのやり取りを重視している。
- ・ただ打つと思わずに身を守る。その中で機会を捉える。
- ・打たれまい、打ってやろうとだけ考え過ぎずに相手に従って勝つ。心静かに対応していると相手の隙が見えてくる。
- ・相手に勝つことばかり考えていると相手の策にはまってしまう。
- ・基本の積み重ねである。機会を捉えて打ち切る。



～六・七段受審者会場～

- ・気合、着装、礼法が良い。
- ・技のきめが不足している。
- ・女性は男性と対する時は刷り上げ技などでしなやかに使うと良い。
- ・肩に力が入って握りが固い。柔らかく持つことでのびやかに伸びる。
- ・自分が打てる間合いで攻めが効いたところで覚悟を決めて技を出す。攻めの効いていないところで打ってはいけない。
- ・勢いがあるのは良い。
- ・自分の気が充実していない時に小手面、小手面と単調に繰り返すのではなく思い切って打つ。
- ・攻めて間合いをつめて相手を動かして、相手が動くところを打つ。
- ・打つべき好機で打たなければ評価されない。
- ・覚悟を決めて捨て身で打ち切ることが基本。
- ・握りは鍔元を余し過ぎないように柄革の長さを調節しておく。
- ・胴は返し胴も抜き胴も差し込まれないように前で応じる。
- ・押さえっぱなしや受けっぱなしでは駄目、技を出すこと。
- ・審査を意識しすぎて自分を作りすぎない、あくまで普段の稽古のように。
- ・覚悟を決めて捨て身で技を出して打ち切る。



指導稽古

その後遠藤先生、曾根先生、佐藤先生、三條先生の4名の八段の先生に元に立っていただいて、約1時間熱のこもった指導稽古をいただきました。



講評 最後に遠藤先生から講評をいただいて終了いたしました。

- ・初段には初段の、七段には七段の基本がある。段が上がるごとにより深くなっていくものである。
- ・マナーのこと。竹刀は刀として扱うことが大事なこと。立っている時に竹刀を杖のようにして寄りかかっていることは指導者としてあってはならないことである。戒めて欲しい。

ご指導くださいました遠藤会長はじめ曾根先生、佐藤先生、三條先生、並びに立派な会場をご高配賜りました遠藤近志先生、お世話いただいた渡邊先生、ご参加くださいました会員の皆様に改めて感謝申し上げます。また今回ご都合のつかなかった会員の皆様も次回は是非参加くださいますようお願いしております。

(1) 参加者 (敬称略・順不同)

遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、渡邊初男、阿部東悦、阿部東司、三浦 均
遠藤近志、小淵俊江、西口晃、渡邊一仁、小林房雄、中村等、菅原和夫、佐々木博嗣、盛島明彦、
細矢国昭、及川成美、栗原利江、文載圭、相澤俊夫、頼金達臣 (関東地区)
岩間克寿、江俣和代(見学)

2 福島県郡山例会のご案内

令和5年度第2回目の地区例会を下記の通り開催いたします。今回は福島の石田・渡辺先生の御計らいにより宿泊にて開催いたします。多くの会員のご参加をお待ちしております。万障繰り合わせの上よろしく願いいたします。

○日時：令和5年7月29日(土) 14:00～7月30日(日) 11:30

○場所：・稽古会場 福島県 郡山市東部体育館

〒963-0722 福島県郡山市田村町金屋字下夕川原167-2 TEL:024-943-5558

・宿泊会場 郡山市天然温泉月光温泉クアハイム

〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字四角垣43-1 TEL:024-947-1126

○内容：7月29日(土) 14:00～整列、会長挨拶、記念写真撮影

(予定)

14:15～会員同士による基本技打突

14:30～審査研修

15:00～会員同士の廻り稽古(2分5回)

15:20～八段元立ちの指導稽古

16:10～講評、終了⇒宿泊会場へ移動

7月30日(日) 9:00～準備運動、整列、挨拶

9:15～会員同士による基本技打突

9:30～会員同士による廻り稽古

10:10～八段元立ちの指導稽古

11:00～講評、終了解散

○会費：13,000円

3 全国通常総会の報告

青葉が艶めき風も爽やかな5月3日（祝）ホテルオークラ京都において国際社会人剣道クラブ理事会並びに通常総会が開催されました。概要は下記のとおりで、議案は理事会および総会において満場一致で承認されました。詳細は後日本部より送付される報告書をご覧ください。東北地区クラブからは曾根副会長、石田慶節副会長、三條幹事長、古濱久美子先生、中村等先生、渡邊一仁先生、江俣和代の7名が出席しました。

○第1号議案事業報告についてはコロナ禍においても各地区クラブが感染拡大予防対策を徹底工夫しながら事業を実施したこと、海外交流事業は中止されたことが報告された。

○第3号議案事業計画では今年度の全国例会が11月4(土)～5日(日)に浜松市雄踏総合体育館を会場に準備が進められている状況報告があった。国際交流事業に関して今年度は例年のように進めていく方針で参加者を募ることが周知された。

○第5号議案では各地区クラブの事情により役員交代があったことに伴い理事会の役員交代があった。

<中国地区>副理事長 金尾 静一先生 任期満了後に後任 寺本 昭彦先生
<九州地区>副会長 加野 資典先生 任期満了後に後任 野口 慎一郎先生

○第7号議案

*家族会員の年会費は8千円、会長職を全うして名誉会長に就任した会員および90歳を超えた会員は年会費が免除されることが規定された。

*表彰規程が制定された。

*台湾・高雄国際親善剣道大会の報告 *詳細はHPをご覧ください。

個人戦結果 女子40歳以上 優勝 岩崎美穂先生（中国）
準優勝 安田由美子先生（近畿）
男子65歳以上 優勝 田頭啓史先生（近畿）
男子45歳～64歳 優勝 佐藤健二先生（関東）

4 退会者と今年度新規入会者について

退会： 工藤一男先生（山形）、三枚橋竹人先生（宮城）

入会： 岩間克寿先生（宮城）、栗原利江先生（宮城） 盛島明彦先生（宮城）

先生方の益々のご精進、ご活躍を祈念いたします。

《 今後の予定 》

開催予定時期	開催予定場所	備考
第3回 令和5年8月27日(日)	山形県米沢市	日帰り
第4回 令和5年10月14日・15日(土・日)	岩手県北上市ふるさと体験館	宿泊
全国例会 令和5年11月4日・5日(土・日)	全国例会 静岡県浜松市	東海地区主管
第5回 令和5年12月16日(土)	宮城県仙台市	日帰り
第6回 令和6年1月27日・28日(土・日)	山形県山形市	宿泊

5 国際親善 韓国社会人剣道大会 参加申し込みについて

第36回国際オープン韓国社会人剣道大会が令和5年7月8日（土）～9日（日）の日程にて、韓国ソウル市内で開催されます。参加希望者には詳細をお知らせいたしますので、事務局までお問い合わせください。なお、大会要項が国際社会人剣道クラブホームページ (<http://www.npo-igkc.or.jp/honbu/987/>) にも掲載されておりますので、こちらからもご確認いただけます。

◆ 当クラブ副会長(本部理事長)曾根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」この著書は曾根先生が剣道を始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた事を集約したもので、指導の手引きや自分の剣道を高めるのに必ずや役立つものと思います。1冊1,000円で頒布致します。各地区の指導者の皆様にも是非お勧めください。数がまとまれば発送いたします。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行 出村大光氏 s-bungu@axel.ocn.ne.jp

関東地区クラブ幹事長 小川 徹氏 tetujin-30@g08itscom.net

東海地区クラブ幹事長 足立 誠氏 makoto.adachi51@gmail.com

近畿地区クラブ幹事長 久保達也氏 tatsuyakubotatsuya@gmail.com

中国四国クラブ幹事長 金尾静一氏 kanao-0522@amethyst.broba.cc

九州地区クラブ幹事長 山田雅士氏 m.yamada.kokura.k8@gmail.com

編集後記

緑が美しく輝き、活力が豊かにみなぎってくる季節になりました。コロナも5類に変更になり、清々しい空気の中で稽古にも一段と身が入ってくる頃と思います。

会員の剣道の向上を願って熱心にご指導いただいた貴重な研修内容や楽しく喜んでもらえるようにと工夫を凝らして運営して下さっている活動を少しでも会員の皆様にお伝えできるように、編集員一同今年も微力を尽くしてまいりたいと思います。

会員の皆様にはこれからもお支えを賜りますようお願い申し上げますとともに、是非例会に参加して紙面では伝えきれない素晴らしい研修を良い学びの機会としてくださいますようお願い申し上げます。皆様との交剣知愛を楽しみにしております。

(江俣和代)

